

『行政区(自治会)アンケート』『各種団体アンケート』(案)

* 目的 :

行政区内での地域活動の状況、及び市内で活動されている各種団体の活動状況等を把握するためアンケート調査を実施し、今後の「協働によるまちづくり」の推進に向けた基礎資料として活用する。

* 調査対象 : 『行政区(自治会)アンケート』 小城市内 180 行政区
小城市 84、三日月町 41、牛津町 29、芦刈町 26
『各種団体アンケート』 121 団体

民生委員・児童委員連絡協議会	4
消防団	12
婦人会	4
老人クラブ	4
校区単位 PTA 連絡協議会	11
青少年健全育成市民会議	1
ボランティア連絡協議会	52
体育協会	1
社会福祉協議会	1
NPO 法人	19
協働のまちづくり推進事業補助金を活用された団体	12
計	121

* 調査方法 : 団体の会合に出向き調査依頼、郵送による返信

* 調査時期 : 平成 27 年 4 月～5 月予定

* 内容 : 別紙調査票 参照

行政区（自治会）に関するアンケート

平素は、小城市のまちづくりにご理解とご協力をいただきありがとうございます。小城市では、「小城市総合計画」後期基本計画（平成24年度～平成28年度）において、重点施策の1つとして『市民と行政との協働体制の確立』を掲げ、「協働によるまちづくり」を進めているところです。

今回、市内行政区の活動に関する実態調査を実施し、今後の「協働によるまちづくり」の推進に向けた基礎資料として活用させて頂くことにしました。

このアンケートから得られた情報は、本調査の目的以外に使用することはありません。つきましては、ご多用な中に申し訳ありませんが本調査の趣旨をご理解いただきご協力下さるよう、よろしく願いいたします。

平成27年 月

小城市長 **江里口 秀次**

ご記入にあたってのお願い

1. 回答については、行政区（自治会）の状況をふまえて、地区の代表の方がご記入ください。
2. 黒の鉛筆又はボールペンでご記入ください。
3. 回答は、あてはまる番号を○で囲んでください。
4. ご不明な点、調査に関するお問い合わせなどは、下記までお願いいたします。

調査の問い合わせ先

小城市役所企画課市民協働推進係 池田・浦部
（電話：0952-37-6115 FAX：0952-37-6163）

記入していただいた調査票は三つ折りにし、**月 日()**までに、同封の返信用封筒に入れて（切手を貼らずに）投函してください。

行政区（自治会）について

問1. 行政区名を記入してください。

行政区名	
------	--

問2. 区長の年齢をおたずねします。

1. 30歳代以下	2. 40歳代
3. 50歳代	4. 60歳代
5. 70歳代	6. 80歳代以上

問3. 区長の職業をおたずねします。(主なもの1つに○をつけてください。)

1. 自営	2. 会社員
3. 公務員	4. 無職
5. その他 ()	

問4. 区長の在職年数をおたずねします。

1. 1年	2. 2年
3. 3年～5年	4. 5年以上

問5. 区長をどのような方法で選ばれていますか。(主なもの1つに○をつけてください。)

1. 選挙で決定	2. 総会等で協議して決定
3. 輪番制	4. 指名
5. その他 ()	

問6. 貴行政区の全世帯数と、行政区への加入世帯数は、現在どれくらいですか。

全 世帯のうち 世帯が加入している。

問7. 貴行政区の一世帯当たりの区費（1年分）をご記入ください。

1世帯当たりの区費（1年分）	円
----------------	---

問 8. 貴行政区の活動計画や案内はどのような方法でお知らせしていますか。
(あてはまるものすべてに○をつけてください。)

1. 回覧板	2. チラシの全戸配布
3. 電話	4. メール・SNS
5. その他 ()	

問 9. 貴行政区の活動の合意形成のしくみとして定期的な会合はありますか。

1. 総会	年 () 回程度
2. 役員会	年 () 回程度
3. その他 ()	

問 10. 区長として行政区内のことをどのようにして把握していますか。
(あてはまるものすべてに○をつけてください。)

1. 気になる世帯(独居老人世帯等)への訪問
2. 民生委員からの情報提供
3. 近隣世帯からの情報提供
4. 市からの情報提供
5. その他 ()

問 11. 貴行政区は、どのような団体(下部組織)で構成されていますか。
(あてはまるものすべてに○をつけてください。)

1. 消防団	2. 婦人会
3. 老人会・老人クラブ	4. こども会・こどもクラブ
5. その他 ()	

問 12. 問 11 の団体の代表者や役員等が集まる会合を定期的を開催していますか。

1. 年1回	2. 年2回～3回
3. 月1回	4. なし
5. その他 ()	

問 13. 貴行政区は、認可地縁団体の認可を受けられていますか。

1. 認可を受けている	2. 認可を受けていない
3. 検討中	

※認可地縁団体とは：自治会、町内会等広く地域社会全般の維持や形成を目的とした団体・組織のなかでも、地方自治法などに定められた要件を満たし、行政的手続きを経て法人格を得た団体。

〔問13で「1. 認可を受けている」と回答された方にお聞きします。〕

問14. 認可地縁団体(自治会)の長は行政区の区長と同じ方ですか。

- | |
|--|
| 1. 区長と自治会長は同じ人である
2. 区長と自治会長は違う人である |
|--|

活動状況についておたずねします

問15. 貴行政区でどのような活動をおこなっていますか。

(あてはまる活動すべての番号に○をつけてください。)

◆住環境の設備	◆公共施設の管理	◆教育への支援
1. 地域の清掃や美化	1 2. 掲示板の管理	2 3. 児童の遊びや 教育の支援
2. ごみ処理・収集	1 3. 集会所の管理	2 4. 青少年の健全 育成の支援
3. 地域トラブルの調整 (隣家の騒音など)	1 4. 生活道路や 街灯の管理	2 5. 学校教育への協力
◆親睦・文化活動	1 5. 上下水道の管理	◆環境問題への取組み
4. 祭りの実施	1 6. 用水路の管理	2 6. 公害や騒音防止
5. スポーツイベントや 文化活動	1 7. 墓地や寺社、教会 の管理への協力	2 7. リサイクルや省エネルギー
6. 伝統芸能や文化財の保存	◆厚生・福祉への支援	2 8. 自然保護や環境教育
7. 慶弔の世話	1 8. 乳幼児の保育支援	◆その他の活動
◆生活安全の確保	1 9. 子育ての支援	2 9. 農林水産業の共同作業
8. 防災(自然災害)	2 0. 男女共同参画の支援	3 0. まちづくりやまちおこし
9. 消防(予防・消火)	2 1. 高齢者の支援	3 1. 国際交流への協力
1 0. 犯罪・非行の防止	2 2. 障害者の支援	3 2. 選挙での候補者の支持
1 1. 交通安全の指導		3 3. その他()

問16. 「問15」の活動のうち、貴行政区において最も重要な活動はどれだと思われ
ますか。

(あてはまる番号を主な順に3つまでご記入ください。)

1位	2位	3位

問17. 貴行政区の行動や活動に対し、住民の協力は積極的ですか。

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. 積極的である | 2. 比較的積極的である |
| 3. あまり積極的ではない | 4. 積極的ではない |

問18. 貴行政区の活動で、どのような問題点がありますか。

(あてはまるものすべてに○をつけてください。)

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. 役員の引き受け手がない | 2. 未加入者の増加 |
| 3. 高齢化 | 3. 参加意識が低い |
| 5. 役員の負担が大きい | 6. 地域住民の協力が得にくい |
| 7. 活動がマンネリ化している | 8. 活動経費が足りない |
| 9. 特に問題はない | |
| 10. その他 () | |

問19. 次にあげる中で、行政区の役割として重要なものはどれですか。

(あてはまる番号を主な順に2つまでお答えください。)

- | | | |
|--------------------|----|----|
| 1. 地域内の住民の親睦を深めること | 1位 | 2位 |
| 2. 地域における生活環境の維持管理 | | |
| 3. 地域の問題への自主的取り組み | | |
| 4. 市町村に対する協力 | | |
| 5. 市町村への要望や働きかけ | | |
| 6. その他 () | | |

問20. 行政区において、市からどのような支援が必要だと思われますか。

(あてはまるものすべてに○をつけてください。)

- | | |
|---------------------|--|
| 1. 現状のままで良い | |
| 2. 活動経費についての助成 | |
| 3. 活動事例や助成情報の提供 | |
| 4. 他の行政区とのネットワーク | |
| 5. 市職員の積極的な地域活動の関わり | |
| 6. その他 () | |

小城市まちづくりアンケート調査

ご協力をお願い

各種団体の皆様には、平素より市政に対し格別のご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。さて、小城市では、「小城市総合計画」の基づき、「薫風新都～みんなで作る・笑顔あふれる小城市～」の実現を目指し、様々な取り組みを行っております。

これからの取り組みを進めていくうえでの、貴団体のご意見等をお伺いし、今後のまちづくりに活かしていくため、アンケート調査を実施することといたしました。

つきましては、大変お忙しいところ恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解いただき、ぜひご協力をお願いいたします。

平成27年 月

小城市長 **江里口 秀次**

ご記入にあたってのお願い

1. 黒の鉛筆又はボールペンでご記入ください。
2. 回答は、あてはまる番号を○で囲んでください。回答数は、各設問文に（○印1つ）などと指定してありますので、それに従ってご回答ください。
3. ご不明な点、調査に関するお問い合わせなどは、下記までお願いいたします。

調査のお問い合わせ先

小城市役所企画課市民協働推進係 池田・浦部
(電話：0952-37-6115 FAX：0952-37-6163)

記入していただいた調査票は三つ折りにし、月 日()までに、同封の返信用封筒に入れて（切手を貼らずに）投函してください。

貴団体について

問1. 団体名を記入ください。

団 体 名	
-------	--

問2. 主な活動地域にあてはまるものすべてに○印をつけてください。

1. 小城市内全域	2. 小城町内
3. 三日月町内	4. 牛津町内
5. 芦刈町内	6. その他 ()

問3. 主な活動内容にあてはまるものすべてに○印をつけてください。

1. 保健、医療又は福祉の増進を図る活動
2. 社会教育の推進を図る活動
3. まちづくりの推進を図る活動
4. 環境の保全を図る活動
5. 災害救援活動
6. 地域安全活動
7. 人権の擁護又は平和の推進を図る活動
8. 国際協力の活動
9. 男女共同参画社会の形成の促進を図る活動
10. 子どもの健全育成を図る活動
11. 情報化社会の発展を図る活動
12. 学術・文化・スポーツの振興を図る活動
13. 科学技術の振興を図る活動
14. 経済活動の活性化を図る活動
15. 消費者の保護を図る活動
16. 市民活動団体を支援する活動
17. その他 ()

問4. 貴団体の活動年数にあてはまるものに○印をつけてください。(1つに○印)

1. 1年未満	2. 1年以上3年未満
3. 3年以上5年未満	4. 5年以上10年未満
5. 10年以上	6. 不明

問5. 貴団体の会員数にあてはまるものに○印をつけてください。(1つに○印)

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. 10人未満 | 2. 10人以上30人未満 |
| 3. 30人以上50人未満 | 4. 50人以上100人未満 |
| 5. 100人以上 | 6. 不明 |

貴団体の活動について

問6. 貴団体の活動に関し、現在どのようなことに困っていますか。(2つまで○印)

- | |
|----------------------------------|
| 1. 会員が減少・不足している。 |
| 2. リーダー・役員が不足している。 |
| 3. 活動が停滞・縮小している。 |
| 4. 活動拠点・施設が不足している。 |
| 5. 活動資金が不足している。 |
| 6. 市民等に十分活動が認知されている。 |
| 7. 活動にあたっての手続きや専門的な知識・情報が不足している。 |
| 8. 相談する相手がいない。 |
| 9. その他 () |

問7. 貴団体の活動を充実する上で、行政にどのような支援を望みますか。(2つまで○印)

- | |
|----------------------------------|
| 1. 市民などへの、貴団体の活動内容の広報・PRに関する支援。 |
| 2. 活動や会議などに利用できる場所の提供。 |
| 3. 地域内や他のグループとの交流・情報交換の機会の設定。 |
| 4. 行政や地域への提案など活動の成果が活かされる仕組みづくり。 |
| 5. 組織づくりや運営・活動に関する相談体制の充実。 |
| 6. リーダーなどの人材育成や人材バンクなどの人的支援の実施。 |
| 7. 活動に役立つ情報提供や、学習・研修などの支援。 |
| 8. 地域に貢献する活動を行う上での経済的支援。 |
| 9. 特に支援の必要はない。 |
| 10. その他 () |

問8. 貴団体は、他の団体との連携や協力をして活動することがありますか。

あてはまるものすべてに、○印をつけてください。

- | | |
|---------------------|---------------|
| 1. 同様の活動している団体 | 2. 企業 |
| 3. 学校 | 4. 行政 |
| 5. CSO 市民活動センターようこそ | 6. 連携・協力していない |
| 7. その他 () | |

協働の進め方について

問9. 市民と行政が協働してまちづくりをすすめる上で、何が最も重要とお考えですか。
(2つまで○印)

1. 行政だけ、市民だけでは解決できない課題を発掘する。
2. まちづくりへの市民参画を推進する。
3. 地域のまちづくりのニーズを把握し、情報を共有する中で事業を展開する。
4. 市民が自立して解決できるよう行政の支援を充実する。
5. 地域や市民の多様な価値観を活かせるような場を醸成する。
6. 市民の役割、行政の役割を明確にし、それぞれが必要な役割を果たす。
7. 市民の満足度を高めるために事業や情報提供を積極的に進める。
8. その他 ()

問10. 今後、小城市がどのようなことに重点的に取り組むべきだとお考えですか。
(3つまで○印)

1. 少子化対策（妊娠、出産への支援、子育てしやすい環境づくり）。
2. 急激な高齢者の増加への対応。
3. 医療・福祉サービスの確保。
4. 自然環境の保全。
5. 地域経済の活性化。
6. 観光の振興（魅力ある観光地づくり）。
7. 国際交流。
8. 農林畜産業の振興。
9. 地震や豪雨災害などへの備え。
10. 安全安心の確保（消防、防犯、交通安全）。
11. 道路環境の整備。
12. 公共交通の充実。
13. 学校教育の充実。
14. 伝統文化の保存・活用・文化芸術の振興。
15. 郷土への「誇り」・「愛着」の醸成。
16. 地域力の向上や魅力ある地域づくり。
17. 効率的で持続可能な行財産運営の推進。
18. その他 ()

